

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 036-4.1
改訂： 2026-02-05
製造所識別コード Radiometer SDS M3 036 (EU-EN/5.0)

ページ数 1/4
初版： 2011-07-31

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品番号・製品名：

推奨用途：

供給者に関する情報

920-753 SP80 Cleaning solution pack 230 ml 【ABL80 用】
血液ガス分析装置に使用する校正（キャリブレーション）溶液・洗浄溶液
販売元：ラジオメーター株式会社
〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35
電話： 03-4331-3500
製造元：ラジオメーターメディカル社（Radiometer Medical ApS）
Aakandevej 21 DK-2700 Broenshoej, Denmark
ホームページ：www.radiometer.com

2 危険有害性の要約

GHS 分類：

健康有害性：

皮膚腐食性/刺激性：区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分1

環境に対する有害性：

-

GHS ラベル要素



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

| | |
|------|----------------|
| H314 | 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 |
| H318 | 重篤な目の損傷 |

注意書き：

| | |
|--------------------|--|
| P280 | 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 |
| P302 + 352 | 皮膚に付着した場合：多量の石鹼と水で洗うこと。 |
| P333 + P313 | 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 |
| P362 + P364 | 汚染された衣類は脱ぎ、再使用する前に洗濯する。 |
| P305 + P351 + P338 | 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物

| % | CAS 番号 | 化学名 |
|-------|-----------|-----------------------|
| 25-30 | 77-92-9 | クエン酸 |
| 1-2 | 1310-73-2 | 水酸化ナトリウム |
| <0.1 | 2682-20-4 | 2-メチル-2H-イソチルアゾル-3-オン |

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 036-4.1 (920-753 SP80 Cleaning solution pack 【ABL80用】) ページ数 2/4

4 応急措置

応急措置の詳細：

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、人目に付く状態で安静を保つ。

皮膚へ付着した場合： 汚染された衣服を脱がせ、水で皮膚を十分にすすぐ。湿疹または他の皮膚障害がある場合：医師の診察を受ける。本 SDS を持参すること。

眼に入った場合： 直ちに大量の水で少なくとも 15 分間洗い流す。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。刺激が継続する場合：医師の診察を受ける。本 SDS を持参すること。

飲み込んだ場合： 直ちに口をすすぎ、水を飲む（最大 200ml）。嘔吐させないこと。毒物センター／医師に連絡すること。本 SDS を手元に置くこと。

5 火災時の措置

適切な消火剤： 周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤： 情報なし

火災時特有の危険有害性： 特別な注意事項なし。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： 職場で指示されている一般的な火災予防措置に従うこと。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

皮膚及び目への接触を避ける。本 SDS に記載されている安全な取り扱いのための対策に従う。

環境に関する注意事項： 排水溝、水路または地面への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 漏出物を適切な吸収材で吸収すること。汚染された場所を水で洗浄すること。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

安全な取り扱いのための注意事項： 皮膚や目に触れないようにする。
本製品の使用中は、ヒト血液を含んでいる。本製品を取り扱う際は、日常的な感染防止手順を遵守し、本製品を感染の可能性のあるものとみなすこと。

保管

安全な保管条件： 容器をしっかりと閉める。
製品ラベルを参照の上、保管温度にて保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

濃度基準値

| 化学名 | 管理濃度 濃度基準値 | 日本産業衛生学会 許容濃度 | 米国産業衛生専門家会議(ACGIH) |
|----------------------|------------|---------------------|---------------------|
| 水酸化ナトリウム (1310-73-2) | なし | 2 mg/m ³ | 2 mg/m ³ |

設備対策： 適切な換気を行うこと。職業曝露限界値を守り、上記やスプレーミストを吸入する危険を最小限に抑える。

保護具

呼吸用保護具： 具体的な勧告はないが、過度の空気汚染が存在する場合、例外的に呼吸保護具

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 036-4.1 (920-753 SP80 Cleaning solution pack 【ABL80 用】) ページ数 3/4

| | |
|--------|--|
| 手の保護具： | が必要となる場合がある。 保護手袋を使用する。ニトリル手袋推奨。 厚さ：0.11mm 以上。浸透破過時間：480 min 以上 グローブの耐久時間について情報提供が可能なグローブの供給業者と相談の上、選定する。 |
| 眼の保護具： | 飛散のリスク：ゴーグルか、フェイスシールドを装用する。 |
| 衛生対策： | 取り扱い後は、手を洗う。 |

9 物理的及び化学的性質

| | | | |
|--------------------|------|-------------------------|----------|
| 物理状態： | 液体 | pH： | 2,0-3,0 |
| 色： | 無臭 | 動粘性率： | 情報なし |
| 臭い： | 情報なし | 溶解性： | 水に完全に溶解。 |
| 融点／凝固点： | 情報なし | n-オクタノール／水分配係数 (log 値)： | 情報なし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲： | 情報なし | 蒸気圧： | 情報なし |
| 可燃性： | 情報なし | 密度及び／又は相対密度： | 情報なし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： | 情報なし | 相対ガス密度： | 情報なし |
| 引火点： | 情報なし | 粒子特性： | 情報なし |
| 自然発火点： | 情報なし | 分解温度： | 情報なし |

10 安定性及び反応性

| | |
|--------------|--------------|
| 反応性： | 知見なし。 |
| 化学的安定性： | 所定の保管条件では安定。 |
| 危険有害な反応の可能性： | 知見なし。 |
| 避けるべき条件 | 知見なし。 |
| 混触危険物質： | 強アルカリ剤 |
| 危険有害な分解生成物： | 特になし |

11 有害性情報

本製品の通常使用時には関係しないが、容器が破損した場合の影響を示す。

| | |
|-------------------------|--|
| <u>急性毒性 (経口) (経皮)</u> | 分類できない |
| <u>皮膚腐蝕／刺激性</u> | 皮膚刺激を引き起こす。 |
| <u>眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性</u> | 重篤な眼刺激 |
| <u>呼吸感作性または皮膚感作性</u> | アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある。 |
| <u>生殖細胞変異原性</u> | 分類できない |
| <u>発がん性</u> | 分類できない |
| <u>生殖毒性</u> | 分類できない |
| <u>特定標的臓器毒性(単回ばく露)</u> | 分類できない |
| <u>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</u> | 分類できない |
| <u>誤嚥有害性</u> | 分類できない |
| <u>吸入</u> | エアロゾルの吸入：呼吸器系を刺激することがある。 |
| <u>皮膚との接触</u> | 皮膚刺激を引き起こす。敏感な人に感作性またはアレルギー反応を引き起こすおそれがある。 |
| <u>眼への接触</u> | 刺激性があり、発赤や痛みを引き起こすことがある。 |

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M3 036-4.1 (920-753 SP80 Cleaning solution pack 【ABL80用】) ページ数 4/4

経口摂取 胃を刺激し、胃痛、嘔吐、下痢を引き起こす可能性がある。

12 環境影響情報

生態毒性 本製品は、水生生物に対して非常に毒性が強く、水生環境において長期的な悪影響を引き起こす可能性のある物質を含む。
2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン：
M 因子（急性）： 10, M ファクター（慢性） 1

残留性・分解性 本製品は生分解性があると考えられる。

生物蓄積性 生体内に蓄積しない。

土壌中における移動性 データなし

オゾン層への有害性 分類できない

13 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

本製品の容器及び残留物は、感染性廃棄物として処理すること。

注意： 製品が使用されているときは、ヒトの血液が含まれているため、取り扱う際には、日常的な感染対策手順を遵守し、非感染性であることが証明されない限り、全てのものに感染の可能性があるものとみなすこと。

14 輸送上の注意

本製品は、危険物の輸送に関する国際規制（IMDG、IATA、ADR/AND/RID）の対象外です。

15 適用法令

本物質または混合物に固有の安全、健康、環境関連規則/法規

<国内法>

| | |
|------------------------|---|
| 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 制度） | 該当しない |
| 労働安全衛生法 | ■水酸化ナトリウム 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2) |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない（濃度 5%以下につき） (毒物及び劇物指定令政令番号 六十八 水酸化ナトリウムを含有する製剤。ただし、水酸化ナトリウム 5%以下を含有するものを除く。) |

<国内規格>

JIS Z 7253:2019：GHS に基づく化学品の有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

16 その他の情報

使用者は、適切な作業手順を指導され、本取扱説明書の内容を熟知していなければならない。

引用文献および参照ホームページ等

[NITE-CHRIP \(NITE 化学物質総合情報提供システム\)](https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop) (https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

免責事項

本データシートに記載されている情報は、当社の改訂日現在のデータです。本データシートは、本製品が所定の条件下にて、パッケージあるいは技術ガイダンス資料で指定されている通常の取り扱いを対象としたものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合や、他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任となります。